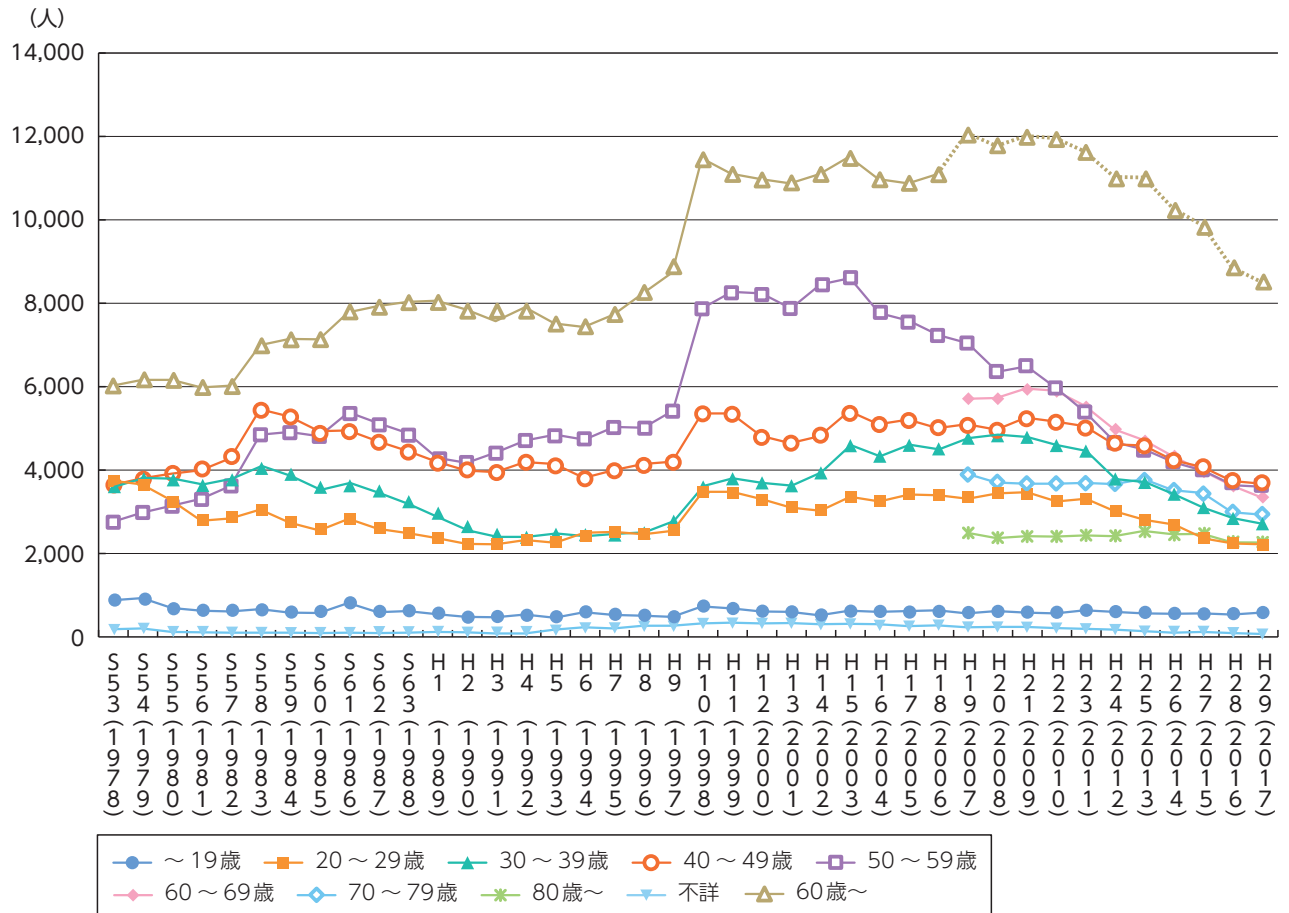


### 3 年齢階級別の自殺者数の推移

○50歳代は平成15年を境に減少傾向にあり、近年は60歳代から20歳代までの各年齢階級においても減少傾向にある。

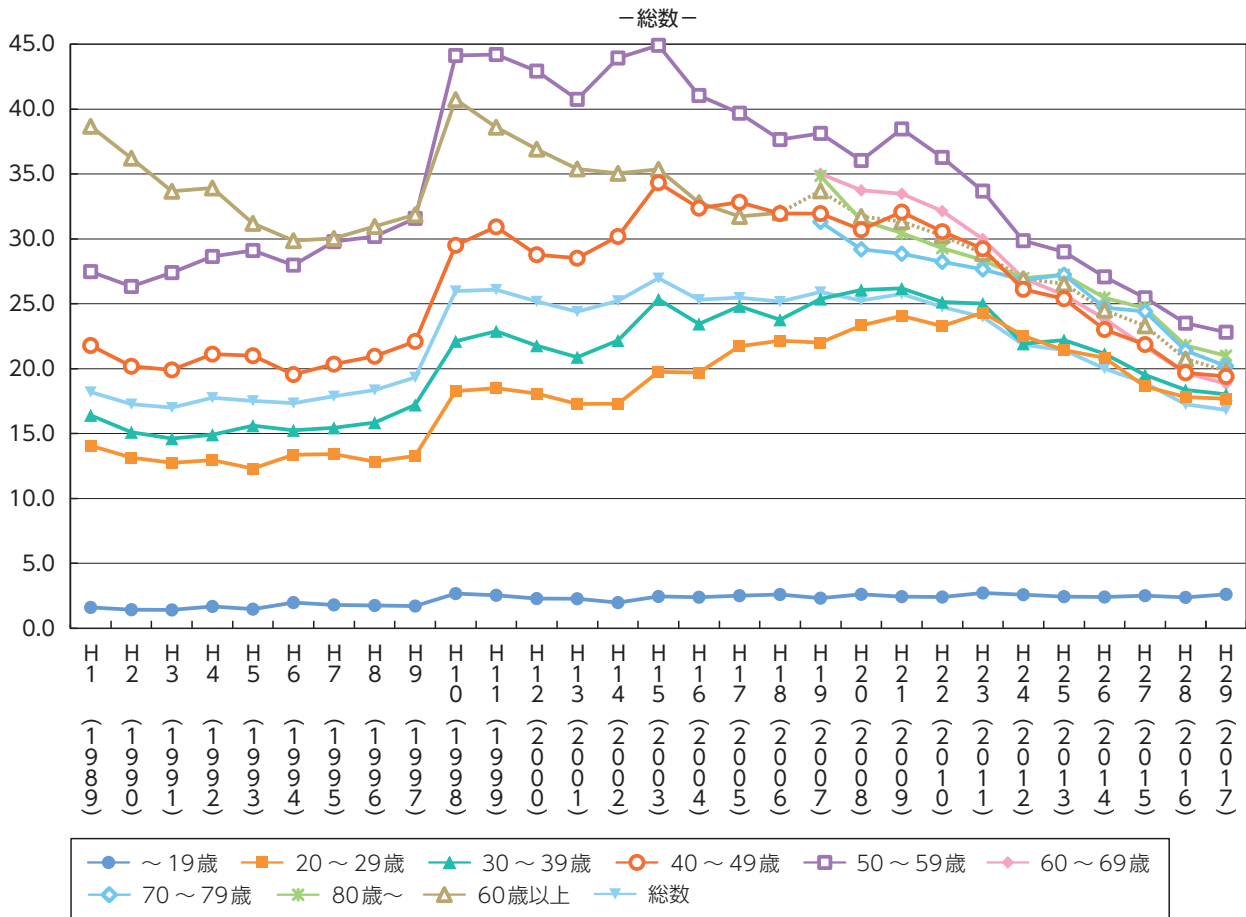
第1-7図 年齢階級別（10歳階級）の自殺者数の推移



注) 平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60～69歳」「70～79歳」「80歳以上」に細分化された。  
資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○年齢階級別の自殺死亡率の推移をみると、40歳代以上で低下傾向にあり、ここ数年は20歳代、30歳代も低下傾向にある。

**第1-8図 年齢階級別の自殺死亡率の推移**



注) 平成18年までは「60歳以上」だが、19年の自殺統計原票改正以降は「60~69歳」「70~79歳」「80歳以上」に細分化された。  
 資料：警察庁「自殺統計」、総務省「国勢調査」及び総務省「人口推計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

○我が国における若い世代の自殺は深刻な状況にあり、15～39歳の各年代の死因の第1位は自殺となっている。こうした状況は国際的に見ても深刻であり、15～34歳の若い世代で死因の第1位が自殺となっているのは先進国では日本のみで、その死亡率も他の国に比べて高いものとなっている。

第1-9表 平成28年における死因順位別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率・構成割合

総数

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	95	1.7	21.6	自殺	71	1.3	16.1	不慮の事故	66	1.2	15.0
15～19歳	自殺	430	7.2	36.9	不慮の事故	306	5.1	26.2	悪性新生物	120	2.0	10.3
20～24歳	自殺	1,001	17.0	48.1	不慮の事故	373	6.3	17.9	悪性新生物	159	2.7	7.6
25～29歳	自殺	1,165	19.0	47.0	悪性新生物	315	5.1	12.7	不慮の事故	291	4.7	11.7
30～34歳	自殺	1,253	17.8	37.4	悪性新生物	641	9.1	19.1	不慮の事故	346	4.9	10.3
35～39歳	自殺	1,445	18.2	27.8	悪性新生物	1,326	16.7	25.5	心疾患	495	6.2	9.5
40～44歳	悪性新生物	2,675	28.0	28.9	自殺	1,739	18.2	18.8	心疾患	1,095	11.5	11.8
45～49歳	悪性新生物	4,753	52.1	34.1	自殺	1,888	20.7	13.6	心疾患	1,819	19.9	13.1
50～54歳	悪性新生物	7,696	98.9	39.5	心疾患	2,476	31.8	12.7	自殺	1,853	23.8	9.5
55～59歳	悪性新生物	12,605	168.9	44.5	心疾患	3,488	46.7	12.3	脳血管疾患	2,148	28.8	7.6
60～64歳	悪性新生物	23,343	288.4	48.4	心疾患	5,824	71.9	12.1	脳血管疾患	3,324	41.1	6.9

男

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	不慮の事故	49	1.8	19.3	悪性新生物	48	1.7	18.9	自殺	43	1.5	16.9
15～19歳	自殺	301	9.8	36.9	不慮の事故	239	7.8	29.3	悪性新生物	78	2.6	9.6
20～24歳	自殺	745	24.6	50.6	不慮の事故	281	9.3	19.1	悪性新生物	95	3.1	6.5
25～29歳	自殺	877	28.0	51.2	不慮の事故	227	7.3	13.3	悪性新生物	155	5.0	9.0
30～34歳	自殺	936	26.2	42.0	不慮の事故	282	7.9	12.7	悪性新生物	261	7.3	11.7
35～39歳	自殺	1,032	25.6	31.4	悪性新生物	535	13.3	16.3	心疾患	378	9.4	11.5
40～44歳	自殺	1,305	26.9	22.4	悪性新生物	1,115	23.0	19.1	心疾患	830	17.1	14.2
45～49歳	悪性新生物	2,141	46.3	24.1	心疾患	1,453	31.4	16.3	自殺	1,400	30.3	15.8
50～54歳	悪性新生物	3,791	96.7	30.3	心疾患	2,005	51.2	16.0	自殺	1,353	34.5	10.8
55～59歳	悪性新生物	7,268	195.2	38.1	心疾患	2,858	76.7	15.0	脳血管疾患	1,474	39.6	7.7
60～64歳	悪性新生物	14,842	372.0	44.4	心疾患	4,640	116.3	13.9	脳血管疾患	2,360	59.1	7.1

女

年齢階級	第1位				第2位				第3位			
	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)	死因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	47	1.8	25.3	自殺	28	1.0	15.1	先天奇形、変形及び染色体異常	18	0.7	9.7
15～19歳	自殺	129	4.5	36.9	不慮の事故	67	2.3	19.1	悪性新生物	42	1.5	12.0
20～24歳	自殺	256	8.9	41.8	不慮の事故	92	3.2	15.0	悪性新生物	64	2.2	10.5
25～29歳	自殺	288	9.6	37.6	悪性新生物	160	5.3	20.9	不慮の事故	64	2.1	8.4
30～34歳	悪性新生物	380	11.0	33.7	自殺	317	9.2	28.1	不慮の事故	64	1.9	5.7
35～39歳	悪性新生物	791	20.3	41.4	自殺	413	10.6	21.6	心疾患	117	3.0	6.1
40～44歳	悪性新生物	1,560	33.2	45.5	自殺	434	9.2	12.7	脳血管疾患	278	5.9	8.1
45～49歳	悪性新生物	2,612	58.0	51.9	自殺	488	10.8	9.7	脳血管疾患	375	8.3	7.4
50～54歳	悪性新生物	3,905	101.1	56.2	脳血管疾患	506	13.1	7.3	自殺	500	12.9	7.2
55～59歳	悪性新生物	5,337	142.8	57.6	脳血管疾患	674	18.0	7.3	心疾患	630	16.9	6.8
60～64歳	悪性新生物	8,501	207.1	57.6	心疾患	1,184	28.8	8.0	脳血管疾患	964	23.5	6.5

注) 構成割合は、それぞれの年齢階級別死亡数を100とした場合の割合である。

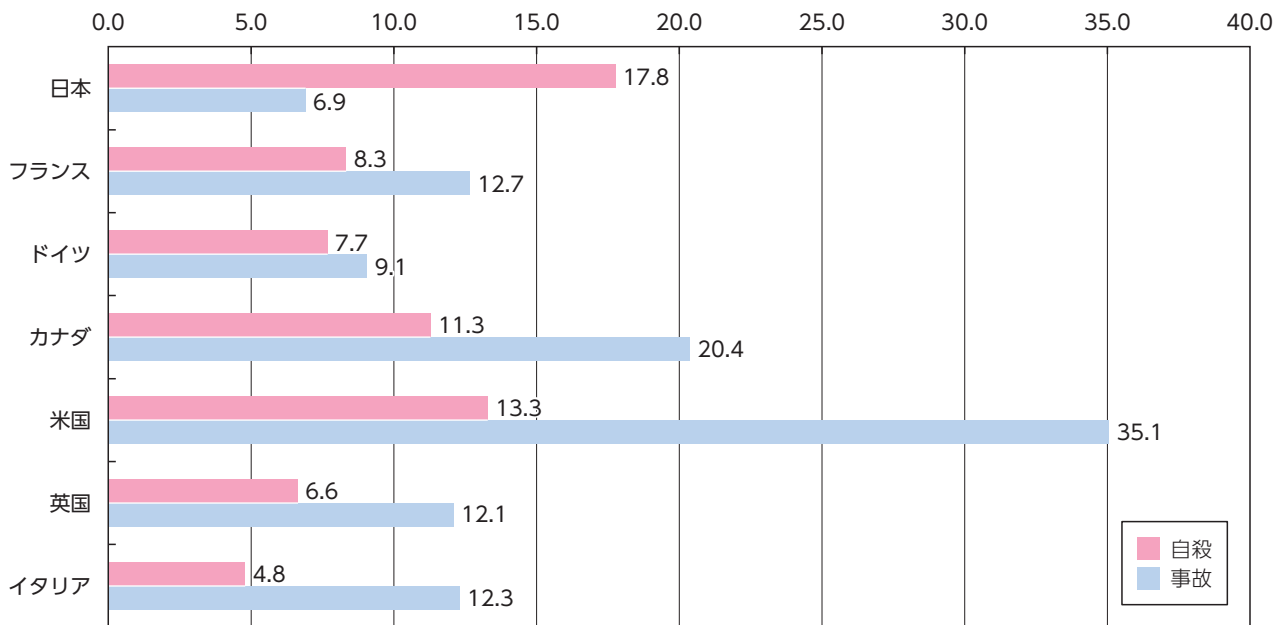
資料：厚生労働省「人口動態統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

### 第1-10図 先進国の年齢階級別死亡者数及び死亡率（15～34歳、死因の上位3位）

	日本 2014				フランス 2013				ドイツ 2014				カナダ 2012			
	死 因	死亡数	死亡率		死 因	死亡数	死亡率		死 因	死亡数	死亡率		死 因	死亡数	死亡率	
第1位	自殺	4,557	17.8		事故	1,955	12.7		事故	1,710	9.1		事故	1,924	20.4	
第2位	事故	1,775	6.9		自殺	1,286	8.3		自殺	1,450	7.7		自殺	1,066	11.3	
第3位	悪性新生物	1,339	5.2		R00-R99*	1,089	7.1		悪性新生物	981	5.2		悪性新生物	528	5.6	

	米国 2014				英国 2013				イタリア 2012				韓国（参考） 2013			
	死 因	死亡数	死亡率		死 因	死亡数	死亡率		死 因	死亡数	死亡率		死 因	死亡数	死亡率	
第1位	事故	30,708	35.1		事故	2,038	12.1		事故	1,589	12.3		自殺	2,580	18.3	
第2位	自殺	11,648	13.3		自殺	1,120	6.6		悪性新生物	889	6.9		事故	1,225	8.7	
第3位	殺人	8,303	9.5		悪性新生物	1,070	6.3		自殺	620	4.8		悪性新生物	874	6.2	

※ICD-10（疾病及び関連保健問題の国際統計分類の第10回修正版）の第18章「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」に該当するもの



注意：「死亡率」とは、人口10万人当たりの死亡者をいう。

資料：世界保健機関資料（2016年12月）より厚生労働省自殺対策推進室作成